会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和５年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業（２）教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第3回産学連携員育成講座開発委員会 |
| 開催日時 | 令和5年10月19日（水）16:00～18:00 |
| 場所 | オンライン |
| 出席者 | 監督者等：岡村　慎一、成底　敏委　　員：柳田　祐大、及川　源太、森川　和哉、藤井　貴志、土井　宏美、三村　隆男、林　透　　　　　　　計9名請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　計1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計10名 |
| 議題等 | 〇前回までの振り返り（柳田）〇アンケート調査結果（柳田）・回答数は115。経験年数が多い方が回答した。・工業系と商業実務系が多く回答。・部長、教務部長、学科長の回答が多い・満足感が高いのは、領域に関する最先端の情報が得られる。実務に生かせるスキル修得。・満足していないのは、カリキュラム改善、事業評価の不満が多かった。・学びの質の保証について等は満足度が少し足りなかった。・物理的にそうした連携先を見つけることが難しいことが原因で不満足につながっている方々が多かった。・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開発では事業評価についての満足度が低いため、この部分はプログラムに入れる必要があると思う。--------------意見交換・産学連携を担当する委員を置かなければならないことになっているが、不満足な結果から人材を置いていないという学校がいくつか見受けられた。（柳田）・産学連携に対する目的や目標について評価基準について明確に位置づいている学校が少ないように見受けられる。（岡村）〇産学連携推進員の資質・要件を明らかにするヒアリング調査（柳田）・回答者の3割を占めている工業系をターゲットとしたい。・好事例からシナリオを検討するため「大満足している」と回答した教員を主たる対象とする。・事業評価について「できている」、「できていない」の両方回答した学校を調査する。・「満足している」「満足していない」と回答した教員の中から、カリキュラムレベルで課題間や改善必要性を感じている方についても1名ずつ対象とする。・対象校および訪問日程は、お手元のリストをご覧ください。・オンライン調査については、追って日程を調整させていただきます。〇ヒアリング調査項目（柳田）・基本的には、ヒアリング項目をベースに更に詳細を尋ねることとしたい。・項目については、お手元の資料を確認してください。----------------------意見交換・１つ１つの項目のつながりが重要だと思う。満足度と生んだ価値の整合はどのように作れているのかははっきりしたい。また、当初計画との結果との整合や評価について聞いてきてほしい。（岡村）・評価基準に対して、現在の結果との整合性を聞いてきます。（柳田）・この整合性が取れているのが好事例と考える。（岡村）・評価基準を作ることとはどういうことか？等を事例として使えるといいですね。（柳田）・今回対象としている職業実践専門課程では、当該委員を必ず置かなければいけないのか（林）・ねばならないというわけではない。（柳田）・担当者がいない方が満足度が高い結果が出ているのは、学内連携ができていないということなのか。構内で産学連携推進員の認識が低いのではないか（林）・アンケートでは、明確にできていない部分なので、少し深掘りをして聞いてきたい。（柳田）・訪問する学校の学科ごとのディプロマポリシーと産学連携の紐づけをどのようにやっているのかを聞いてほしい。とくに、その評価関係を聞いてほしい。（岡村）・現状をしっかりと聞いてきます。（柳田）・職業実践専門課程をしっかりと理解して、さらに3ポリシーと紐づけた産学連携を行っている学校は数少ない印象だ。（及川）・あまりにも固い質問ばかりでなく、オープンクエッションで自由に話ができる環境も必要ではないか。（及川）・及川さんの言うとおりだと思うが、その成果を可視化することが必要だと考える。（岡村）・私は、教育の成果と企業をつなげる仕事をしている。盛岡情報ビジネスにいた時点では産学連携推進員だと認識している。（及川）・そもそも産学連携推進員という人材が理解されていないのではないか。文部科学省は企業連携という言い方をしている。産学連携担当はいるけど、推進しているかどうかは明確になっていないような気がする。前任者からの引継ぎでやっているのか新規企業開拓をしているのかなどもテーマとなると思う。（成底）・成底さんが行っていたのが当校の課題であると認識している。（森川）・私の方で、ヒアリング前に調査項目を作成します。（柳田）〇成果物・産学連携推進員に必要な資質・要件を明らかにするアンケート・ヒアリング報告書・サンプル教材（ケーススタディ）〇日程・第4回委員会は12月18日（月）16:00～18:00　オンライン |
| 配布資料 | ・第3回産学連携推進育成講座開発委員会資料・産学連携推進員に必要な資質・要件を明らかにするアンケート結果 |

以上